

平成 28 年 4 月 25 日
石川県選挙管理委員会
(内線 3548)
(外線 076-225-1282)

新有権者のメッセージ募集について

石川県選挙管理委員会及び石川県明るい選挙推進協議会は、明るい選挙推進事業の一環として、高校生を対象に、「初めての投票」をテーマにした新有権者のメッセージを昨年に引き続き募集します。

応募締め切りは平成 28 年 9 月 9 日（金）、応募方法は別添チラシのとおりです。

応募先（お問い合わせ先）
石川県選挙管理委員会 （076-225-1282）

平成27年度の優秀作品は次のとおりです！



テーマは「初めての投票」だよ。

「初めての投票」について、自分の意見や考え、伝えたいことなどをメッセージにして、応募しよう。

石川県選挙管理委員会委員長賞

18歳から投票ができるようになるのと知り、政治に関心を持つようになりました。有権者になるということは、地域の、そして日本の未来を託されるということです。選挙は、地域や日本をより良くするためのもの。選挙では、与えられる一票の重みと大きな責任を感じつつ、投票していきたいと思っています。

石川県立能登高等学校 3年 瀬戸ひなた

石川県明るい選挙推進協議会会長賞

まだ16歳の私も、あと2年すると有権者になります。教科書は政治の答えは教えてくれません。理解の上で自分の意思を持たなければならないのです。たった一票、されど一票。社会の一員としての責任に身が引き締まる思いです。あと2年、有権者になる準備を少しずつ始めていきたい。

石川県立七尾高等学校 1年 日下和泉

～優秀賞～

18歳から投票ができるようになるのと聞き、近い将来有権者になるものとして政治に関心を持つようになりました。

自分たちの世代が今後の未来を築いていく、導いていくという強い信念を持ち、政治の動向に常に關心・興味を持って、投票所に向かいたいと思います。

石川県立七尾高等学校 1年 原田泰成

新たに有権者になるということは、地域や日本の将来を担う一員になるということです。最近では投票率が低下しています。つまり、政治に参加する権利を自ら捨てている人が増えているということです。選挙権を得たら、これからの国や地域を支えるためにも、積極的に投票していきたいと思います。

石川県立七尾東雲高等学校 2年 宮下鈴矢

これまでは、父や母が選挙に行く姿を見ているだけでしたが、これからは自分も選挙に行くことになります。今は、不安の方が大きいですが、選挙で自信をもって投票するための第一歩として、これからは、政治にもっと關心を持っていきたい。そして、自分の意見をしっかりと持って投票へ行きたいと思っています。

石川県立小松商業高等学校 3年 村中七瀬

来夏から18歳に有権者としての立場が認められることに対して、嬉しく思います。今まで、他人事のように感じていた政治が自分にも関わりのあるものになったので、新聞などを読み、政治に関心を持たないとだめだと感じました。自分の1票に責任を持ち、与えられた1票を大切にしたいです。

石川県立金沢商業高等学校 3年 小林詠人